

中学校卒業後の進路について

～村上特別支援学校高等部の取組～



県立村上特別支援学校
進路支援主任 熊倉 優幸

村上特別支援学校は

昭和50年に開校した主に知的障害の児童生徒が対象の特別支援学校です。

学部は、小学部、中学部、高等部が設置され、寄宿舎も設置されています。

教育目標 「かがやこう」

児童生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行っています。

平成30年度の児童生徒数（人）

	小学部	中学部	高等部	合 計
通学生	20	7	16	43
寄宿舎 生	5	12	23	40
合 計	25	19	39	83

※高等部生徒の在住地域は、村上市、関川村、胎内市のみ

高等部の教育

1 高等部の役割

- 社会生活への円滑な移行
- 働く力・生活する力を身に付ける
- 人間関係をよりよく築く



2 育てたい生徒像

- 明るい心と健康な身体をもち、自らの生活を高めようとする生徒
- 自分の役割や責任を意識し、意欲的に活動する生徒
- 周りの人との協調性をもち、学校生活、社会生活で明るく活動する生徒

高等部の進路支援

【目的】

キャリアタイムや作業学習、職場・校内実習を通して、働くための意欲や態度の向上、知識や技術の習得、進路を主体的に考える力を育てる。



高等部の進路支援

【特色】

○進路希望を最優先に考慮したコース別学習集団の導入（一部）

- 卒業後の進路先での業務や生活に直結する内容を取り上げることで、求められる力を身に付けることができるようにする。
- 同じ目標を持つ生徒同士が協力し、励まし合いながら意欲的に活動する姿を期待する。



時 間	月	火	水	木	金
		登校 ・ 日常生活の指導（着替え）（学年・学級）			
1	8:50~ 9:05		日常生活の指導（清掃）（学年・学級）		
	9:05~ 9:15	特別活動 （HR） （学年・学級）	保体（朝運動）（学部）		
	9:20~ 9:40		特別活動（SHR）（学年・学級）		
9:45~ 9:55					
2	10:00~	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>生活 (クラスタイム) (学級・学年)</p> </div> <div style="text-align: center; background-color: yellow; padding: 10px;"> <p>作業学習 <u>(コース別)</u></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>生活 (キャリア) <u>コース別</u></p> </div> </div>			
3					
4	~11:45				
	11:50~13:10	日常生活の指導（給食準備・給食・片付け・昼休み）（学年・学級）			
5	13:15~13:55	国・数 ・ 自立（課題別学習）（学年・学級）			
6	14:05~14:40	音楽・保体 （学部）	自立活動 特別活動 （生徒会・月1~2回）（学部）	音楽・保体 （学部）	
	14:40~14:50	日常生活の指導（着替え）（学年・学級）			
	14:50~15:00	特別活動（SHR）（学年・学級）			
	15:00	下 校			

コース別学習活動 その1

【作業学習】

- 進路希望や地域性に応じた5つの作業班
- 進路先の業務に直結する作業内容の導入
- かがやき祭での製品販売など地域とのつながりを重視した活動
- 校外事業所での定期的な職場体験



作業班名	主な進路希望	活動内容
リサイクル班	生活介護など、余暇や作業を織り交ぜながら、日常活動を組んでいる事業所を希望する生徒	ペットボルのリサイクル作業
縫製班	就労継続支援B型などで、屋内作業に取り組んでいる事業所を希望する生徒	クッション作り
陶芸班	就労継続支援B型などで、屋内外の立ち仕事に従事している事業所を希望する生徒	陶芸作品(皿・花瓶)作り
農耕班	一般企業や就労移行支援などで、屋外の作業に長時間取り組んでいる事業所を希望する生徒	農作物作り
サービス班	一般企業で、幅広い業種の仕事に従事できる力を育てたい生徒	接客、介護、事務作業、職場体験

※1年生は、前期（4月～10月）に2つの作業班を体験
後期（11月～3月）から正式な班に所属

※進路希望の大きな変更がない限りは所属の変更はなし

コース別学習活動 その2

【キャリアタイム】

- 進路希望と実習先を考慮した3コース設定
- 年間を通して、衣食住などの生活や職場実習などに直結した内容に取り組む。

※前期は2・3年生のみ（1年生は学年対応）
後期は1・2年生のみ（3年生は学年対応）。



コース名	対象生徒 進路希望先	活動内容例
エンジョイ	<ul style="list-style-type: none"> ○生活介護 ○地域活動 支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活（簡単調理、茶話会） ○実習指導（職場実習内容の確認、健康活動、近隣小売店での買い物、ビデオ視聴など） ○衣・住生活（洗濯、畳み） ○社会生活（選挙における投票行動練習）
トライ	<ul style="list-style-type: none"> ○就労継続 支援B型 	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活（調理活動） ○実習指導（職場実習依頼状作成、内容確認、挨拶練習、振り返り、礼状作成） ○衣・住生活（洗濯、畳み） ○社会生活（選挙の仕組み、模擬投票）
チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ○一般就労 ○就労移行 支援 ○就労継続 支援A型 	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活（一人暮らしのご飯づくり） ○実習指導（人生設計、働く意義、職場見学、ようこそ先輩、依頼状作成、模擬作業、コミュニケーション行動、挨拶練習、振り返り、礼状作成） ○住生活（グループホーム） ○衣生活（見だしなみ、適切な服装） ○社会生活（政治の仕組み、選挙の意義、実際の投票行動）

キャリアタイムの実際的な取組

【ようこそ先輩】

- 社会人として活躍している卒業生を学校に招待し、経験談などを聞いたり、質問したりする。
- 先輩方にもそれぞれの進路先に合わせて各コースに所属してもらおう。
- 茶話会形式でリラックスした雰囲気を進める。

コース別学習活動 その3

【職場実習】

- 学校で学んだことを実社会で発揮する。そして将来的に希望する進路実現に向けた自分の課題を見つける。
- 年2回実施、春（6月）と秋（9月）
- 期間はコース別に3日間から15日間まで

※1年生は、校内実習を基本とし、コースごとに集団での職場体験などを行い次年度につなげる。



コース	期間	主な事業所
生活介護 地域活動支援 センターなど	最長1週間 (5日間まで)	やまやの里 (生活介護) 浦田の里 (生活介護)
就労継続支援 B型 就労移行支援 など	最長2週間 (10日間まで)	みどりの家 (B型) みどりの家朝日 (II) すずかけ (II) 浦田の里 (II)
一般企業 就労継続支援 A型など	最長3週間 (15日間まで)	介護サービス事業所 小売店 製造工場 りんらん (A型)

※生活介護、就労継続支援A型・B型等の福祉サービスの違いについては、
村上市福祉課発行の「福祉のしおり」等でご確認ください。

今年度第2回（秋）職場実習先紹介 ～ 一般事業所のみ ～

市町村	事業所名	業種名
村上市	村上市教育委員会	官公庁
	障害者支援施設 やまやの里	福祉サービス事業所
	わら竹	クリーニング業
	ツクイ岩船デイサービスセンター	通所介護施設
関川村	関川愛広苑	介護老人保健施設
	ケアハウスせきかわ	ケアハウス
	公衛社 関川リサイクルセンター	リサイクル業

学習活動と連動して その1

【保護者との連携】

○個別面談（5月、7月、11月、2月）

- 進路希望の確認、実習先候補の選定
- 今後の職場見学等の具体的計画立案
- 3年生については関係機関職員も同席



学習活動と連動して その2

【保護者に対する理解啓発】

○進路セミナー（6月・7月）

- ・ 職場実習事前対策
- ・ 卒業後の福祉サービスに関わる講演



学習活動と連動して その3

【地域企業との連携】

○マッチングサポートフェア（7月）

- 授業見学
- 企業と生徒の面接会



近年の卒業生の進路先

進路先 年度	進学	就職	福祉サービス事業所利用					地域活動支援センター	その他	計
			その他		仕事中心の施設					
			生活介護	自立訓練	就労継続支援A型	就労移行支援	就労継続支援B型			
25年度	0	1	2	2	0	6	5	3	0	19
26年度	0	2	6	1	0	3	1	1	0	14
27年度	0	0	2	2	0	5	5	0	3	17
28年度	0	2	2	0	1	1	6	0	2	14
29年度	0	7	2	0	0	1	6	0	1	17

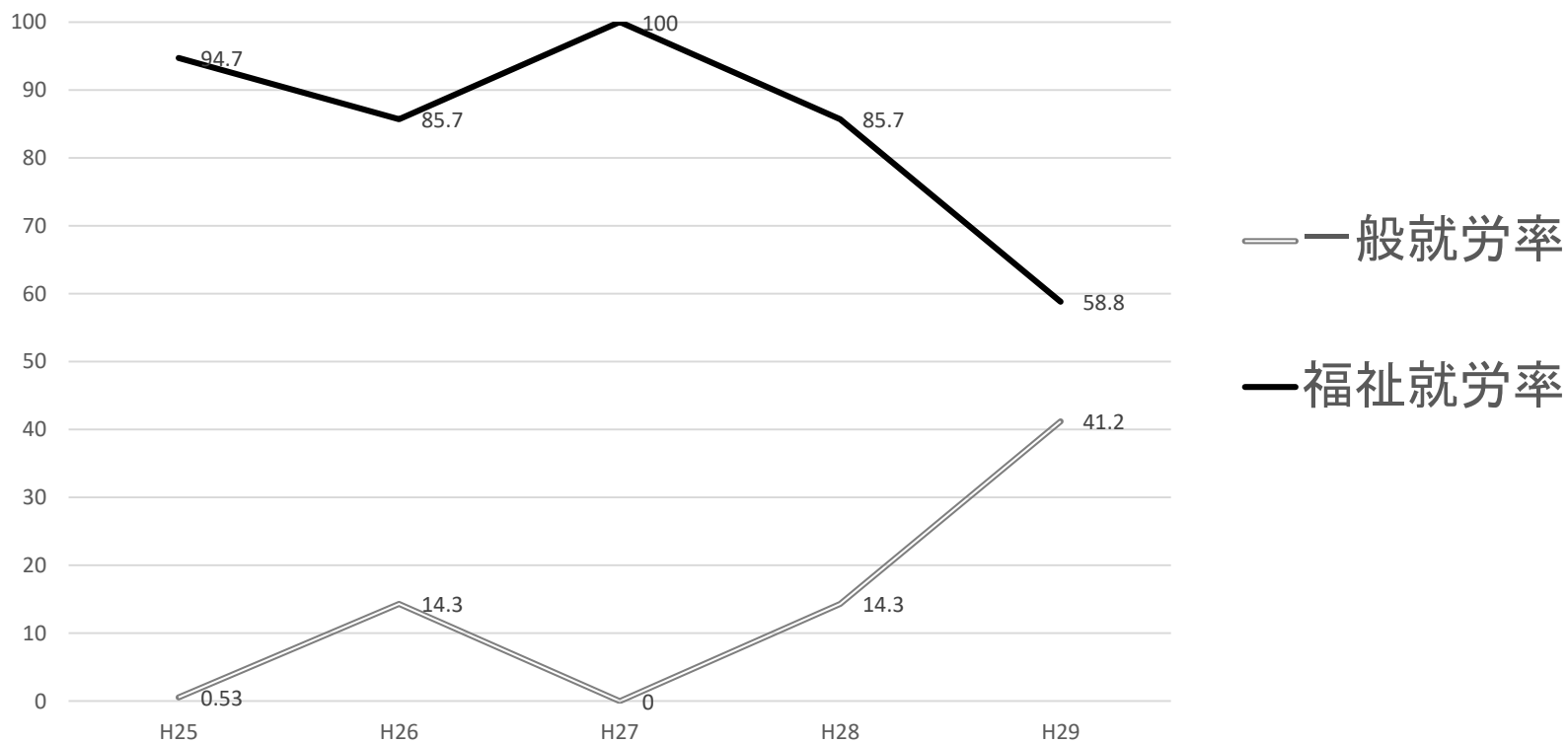
近年の卒業生の就職先

- H26 イオン荒川店(村上市) 小売業
- H27 なし
- H28 原信村上インター店(村上市) 小売業
- H29 デイサービスセンターゆり花荘(村上市) 介護
グループホームふるさと(村上市) //
- 瀬波病院リハビリセンター(村上市) //
- 村上魚市場(村上市) 鮮魚加工業



就職率の推移

過去5年間の就労率の推移



近頃思うこと その1

福祉サービス利用か就職しか道はない？

- 高等部を卒業しても高卒資格は認定されません。
(←保護者面談等での説明で確実に伝えてください)
- しかし大学受検は可能です。
- ただ、実際に受検した卒業生は当校は0です。他校（知的障害が中心の学校ではない）では見事合格し、入学したケースもあります。
(新潟大学等)
- 実際高等部から受験となるとかなり厳しい状況があると思われます。
(高校とは教育課程が違うので)
- ただ、現在「福祉型大学」というような形で大学に近いものを立ち上げている事業所が目立ってきています。
(新潟市にいくつもあります)
- 一つの選択肢になるまでに、この圏域ではもう少し時間が掛かりそうです。



近頃思うこと その2

夢は見るもの？叶えるもの？

- 最近の生徒からしきりに聞こえてくるのは「〇〇になりたい」という、一見「それは今の状況では難しいよ」と即答したくなるような将来の夢の話です。
- 高等部は3年しかありません。現実が目の前にあり、その課題を乗り越えていく必要に迫られています。
- しかし私たち（私だけかもしれませんが）は、そんな彼らの夢を潰していいのか、むしろそういった個々の希望に伝えていくのが特別支援学校の役目なのではないかということも考えてしまいます。
- 最近も製造業に就職したばかりの卒業生から「楽器職人」になりたい、という夢の話を聞きました。私はどう答えたと思いますか？



みんな悩みながら、希望する進路を見つけようと必死に毎日頑張っています！





福島 尚（ひさし）さん



埼玉県在住 48歳 自閉症 現在福祉サービス事業所利用
平日夜、休日に絵を描いている。個展も多く開かれている。

